

時局日誌 (七十二)

Y

H 生

八月一日

中華民國に於ける日本國民に對する課税に關する日本國中華民國間條約(條約八號)公布

十八夏太行作戦に關する北支軍發表 軍は去る七月十一日南部太行山脈中に餘喘を保てる蔣系第二十七軍に對し、作戦を開始し、各所にこれを捕捉し、現在なほ殘敵掃蕩を實施中なり、作戦開始以來二十九日夕までに判明せる戰果左のごとし
遺棄死體千三百七十一、俘虜三千六百八十六、投降千百六十七(將校多數を含む) 迫撃砲十七、重機十八、輕機九十八、小銃千三百三十二、捕虜となり

たる主要なる敵幹部豫備第八師長中將陳孝強、第三十六師第三百三十六團長上校郭佩德、同副團長中將何維新

敵はニューデューチア島ムンダ總攻撃を呼號すること既に數度、しかもなほ戰況の進展を未だ一度も發表し得ざるはわが陸上部隊の勇戦を物語つて餘りあるものである。この激烈なる陸上戰に呼應して敵は猛烈なる空の攻勢を展開しつゝあるか、三十一日には重爆撃機五十八機、艦上爆撃機六十五機、戰團機約二十機計約百五十機といふ大編隊でムンダに來襲、攻撃を加へ來つた、これに對しわが陸上部隊は地上砲火をもつて應戰その三機を

撃墜した、さらに一日にはイサベル島方面にも前後四回にわたつて大型機九十九機、小型機百十四機計二百十三機が來襲したがこれ又わが地上部隊の地上砲火により十機を撃墜した兩日を通じわが方にも若干の損害があつたが、かくの如くソロモン方面の戰闘は陸海空ともに一日々々と熾烈化しつゝある。

一日の獨軍公報は獨軍が七月中に地中海において英米船舶および上陸用舟艇に攻撃を加へ敵船九十四隻合計五十五萬四千二百四十一トンを撃沈、五十三隻合計二十四萬六千七百五十トンを大破せしめさらに少くとも二百二十隻合計約七十八

萬トンに爆弾または魚雷によつて損害を與へその一部は喪失せるものと認められりと發表した。

右の中潜水艦の戦果は撃沈三十五萬一千二百四十三トン、魚雷による損傷三萬トンである、また七月中に獨海軍部隊は敵驅逐艦三隻、高速魚雷艇七隻、潜水艦一隻、哨戒艇一隻を撃沈、巡洋艦一隻、驅逐艦三隻、高速魚雷艇十五隻以上に大損害を與へた、さらに獨空軍は敵驅逐艦一隻、高速魚雷艇三隻、護衛艇一隻、コルヴェット艦二隻と上陸用舟艇多數を撃沈、さらに主力艦一隻、巡洋艦數隻、驅逐艦九隻に損害を與へた。

八月三日

和傘及其の部分品最高販賣價格指定（商工省告示第七七八號）公布
 大本營發表 帝國海軍航空部隊は八月一日三回に互リンドバ港所在敵艦船並に附近の軍事施設を攻撃し左の戦果を得た

り。

- 一、撃沈 大型輸送船一隻、中型輸送船四隻、小型輸送船六隻、驅逐艦一隻、上陸用舟艇六隻以上
- 二、撃破 巡洋艦一隻、上陸用舟艇一隻
- 三、撃墜 戦闘機九機
- 四、炎上 魚雷艇基地、棧橋及び港外バウ島物資集積所

本攻撃に於て我方の損害自爆二機。

八月四日

さきに本年六月下旬迄に海南島西北部山岳地帯に蟻踞蠢動中の敵匪本據に鐵槌を下し、潰滅的な打撃を與へた同島所在帝國海軍部隊は、引續き各所に残存敵匪の掃蕩を續行中であるが、七月中に次の如き綜合戦果を収め明朗海南島建設への歩を着々進めつゝある。

- 一、遺棄死體五百三十一、二、投降者七百十三人、三、鹵獲品 小銃三百四十三挺、拳銃八十四挺、彈藥包三千八百二十二包手榴彈百四十五個、戎克三十四隻。

總統大本營は四日の戦況公表をもつて東部戦線ミウス河沿岸地區の戦闘において七月五日から八月二日までに獨軍は赤軍捕虜一萬七千八百九十五名を得敵戰車七百三十臺、砲七百三門、砲彈投擲器三百九十八門を鹵獲乃至撃破したむね發表した。

八月五日

暴利行爲等取締規則中改正（商工農林省令第二號）煙草定價ニ關スル告示中輸入製造煙草ニ關スルモノヲ除ク大藏省告示第三三三號）公布
 大本營發表 帝國海軍航空部隊は八月四日ムンダ上空において敵戦闘機約七十機と交戦しその二十五機を撃墜せり。

我方損害四機
 獨軍當局は五日東部戦線における獨空軍の戦果につき次の通り發表した。

- 一、獨空軍は四日の戦闘でソ聯機百六十八機を撃墜した、獨軍の損害は七機。
- 一、獨空軍はイジューム地區ならびに

エルゴロド西北地區において戰車九十
五臺を撃破し、燃料庫六棟を炎上せし
め、さらに若干の砲兵陣地を破壊した
一、獨空軍は敵陣地の後方にある兵站連
絡線を爆撃した。

帝國海軍の放膽かつ巧妙な戦術は從來
あらゆる戦域において敵米英海軍の恐怖
のまとなつてゐたが、わが威力の前に
いかに敵が神経質となりつゝあるかを如
實に物語る事實が〇〇基地に齎された、
すなはち去る七月二十六日薄暮キスカ島
東南方海面において敵艦隊が航行中自國
艦隊に遭遇するや、互にこれを帝國艦隊
と見誤り激烈な海戦を展開するのが望見
された、この日海上にはやゝ霧が立籠め
てゐたが、敵兩艦隊は突如砲撃を應酬し
双方に相當の損害があつた模様である。
任陸軍司政長官 新竹州知事 藤村寛太
獨軍當局筋では
獨潜水艦は最近の數日間に敵船舶六隻
合計四萬三千五百トンを撃沈他の二隻

に魚雷を命中せしめた旨六日言明した。

總統大本營の發表によれば赤軍は六日
東部戦線を通じ戰車百十七輛を喪失した
といはれる。

八月六日

農林開發事業令中改正(勅令第六六一號)
農地調整法施行令中改正(勅令第六六二
號)自動車交通事業法施行令中改正(勅
令第六六四號)自動車運送事業組合令改
正(勅令第六六五號)中古品タル書籍販
賣價格指定昭和十六年三月告示第二四
七號中改正(商工省告示第七九一號)
公布

八月九日

纖維製品製造制限規則中改正(商工省令
第五〇號)靴類販賣價格指定昭和十六年
二月告示第一四三號中改正(商工省告示
第七九四號)纖維製品ノ種類指定(商工
省告示第七九六號)纖維製品検査標準、商
工省告示第七九八號)公布
大本營發表 一、帝國海軍驅逐隊は八月

六日夜コロロンバンガラ島の西方海面に於
て飛行機並に魚雷艇と協同せる敵水雷戰
隊と交戦し驅逐艦一隻を撃沈せり。
右戦闘に於て我方も亦驅逐艦一隻沈没、
他の一隻大破せり。

二、帝國海軍戰闘機隊は八月六日シヨロ
トランド島に來襲せる敵戰闘機十六機を
邀撃しその十五機を撃墜せり。
右空戦における我方の損害一機

三、帝國海軍航空部隊は八月六日レンド
バ港を攻撃し左の戦果を得たり。
撃沈 中型輸送船二隻、小型輸送船二
隻、上陸用舟艇約八隻

撃破 中型輸送船一隻、海上トラウク
一隻

撃墜 戰闘機五機以上
右攻撃に際し我方未歸還一機
米側報道によれば日本航空部隊は七日

レンドバ島の米軍基地に對し大規模爆撃
を加へた。西南太平洋反極軸軍司令部は
日本航空部隊が七日正午過ぎ大舉レンド

パ島に來襲、米軍基地を爆撃した旨八日發表した。

八月五日午前五時頃B25型十二機、P38型十六機計二十八機かニューギニヤ北方のマダン附近に來襲、高射砲及び機關銃により三機を撃墜、これを撃退した、米人中隊長コックス少佐以下將校三、下士官一を捕虜とした。

海軍省公表 昭和十七年六月アリニューシヤン方面敵最大軍事據點ダツチハーバーを反覆攻撃し所在の敵艦船飛行機の大部を撃破し軍事施設を潰滅せしめたる第〇〇機動部隊に對し聯合艦隊司令長官より感狀を授與せられ右の旨上聞に達せられたり。

去る六月三十日敵のレンドバ島上陸作戰展開以來レンドバ、ニューヂョーヂアなどソロモン群島方面でわが陸海軍部隊の収めた大本營發表戰果を綜合すれば左の如くであるか、彼我の損害比は巡洋艦においては十對一、驅逐艦において十對

三、行飛機においては三・五對一の割合である。

戰果

◇艦艇

擊沈 巡洋艦七隻、大型驅逐艦六隻、驅逐艦三隻、艦型未詳一隻、特務艦一隻、魚雷艇二隻、上陸用舟艇數十隻、海上トラック多數

擊破 巡洋艦三隻、驅逐艦一隻、魚雷艇一隻、上陸用舟艇多數

◇輸送船

擊沈 二十四隻

擊破 七隻

◇飛行機

擊墜 三百三十五機以上

我方損害

巡洋艦一隻大破、驅逐艦二隻沈没、驅逐艦一隻大破、飛行機未歸還、自爆、損害合計九十三機

補軍事參議官

同

海軍中將 野村直邦

商業報國中央本部長ヲ命ス

八月十日

應徵士服務規律(厚生省令第三六號)公布

愛知縣内政部長 山田 武雄

任島根縣知事

島根縣知事 小泉 樞郎

任地方參事官(廣島縣)

長崎縣内政部長 阿部 邦一

任愛知縣内政部長 加藤於菟丸

依願免本官 地方參事官 並川 義隆

命大政翼賛會東京都支部事務長

興亞總本部實踐局長 藤田 進

興亞總本部實踐局長 兼 兼鍊成局長

興亞總本部實踐局長ヲ命ス 兼 兼鍊成局長

命興亞總本部實踐局長 千葉 了

情報局發表 過般東京都制が實施された

かため、都議會の議員選舉をなす必要を見

るに至り、近く執行される豫定である、

本選挙は健全なる都議會の確立を目的とするものであるが、さきの道府縣會議員選挙など延期の趣旨に則るとともに、現下國民舉げて戦力増強、食糧増産に邁進するの急務たるに鑑み、選挙に關する各種の運動は努めて簡素嚴肅にこれを行はしめ、且つ戦争の遂行を妨げ國論の不統一を招來するが如き言動に對しては徹底的に取締を行ふ方針である。

一時勢ひが衰へたかに見えた東部戦線のソ聯軍は損傷せる前線部隊を引揚げて新市の豫備兵をこれに交代させ、一兩日來大規模な進撃を開始した、これは夏季におけるソ聯軍の攻勢としてはほとんど全力を擧げてゐるのではないかと見られるほど本格的のもので、ベルリンの獨軍部當局は目下ソ聯軍が次の三方向より獨軍の主要陣地を突破し北ウクライナで迫らんとしてゐるものと見てゐる。

獨軍當局九日の公表によれば、本年初めより去る七月末までの七箇月間に日獨

伊三國潜水艦の撃沈せる米英船舶は八百四十隻、五百萬トン以上に達してをり右のほか六百六十隻三百三十五萬トンが魚雷或は爆彈投下により損傷を受けたといはれるから、今年に入つて以來の米英船舶の喪失は合計一千五百十八隻八百三十九萬三千トンと推定されてゐる、この期間中に米英が建造せる新造船は米英側の發表によつても千四十六隻、六百九十萬トンであるから、新造船腹は損失船腹に追ひつかないとい獨側では説明してゐる。

八月十一日

金屬類回收令改正、勅令第六六七號公布
ソロモン群島方面の決戦場において量を持つ敵空軍の反攻は依然執拗を極めつつある、すなはちソロモン群島コロンベングアラ島のわが陣地上空に九日黎明前より午後にかけて敵は數回にわたり延機數二百六十九機をもつて來襲し來つた、來襲敵機種は戦闘機ではベルP39、ロツキーフP38、ウォート・シヨルスキーF4U、

爆撃機ではダグラス急降下爆撃機S・B・D、グラマン急降下爆撃機T・B・F、ノース・アメリカンB25、コンソリテーターDB24など新銳機種を總動員し、戦爆連合の編隊で襲來したが、わが地上部隊は地上砲火をもつてその都度これと激烈な戦闘を交へ、敵を撃退した、わか方損害なし。

静岡縣警察部長 市來 鐵郎

任神祇院調査官兼内務書記官、敎務局調査課長を命ず、大臣官房勤務を命ず

奈良縣内政部長 井上 文介

任長崎縣内政部長

琦玉縣官房長 西尾森太郎

任新潟縣官房長

海軍司政官 保岡 武久

任奈良縣内政部長

内務事務官 西村 直巳

任静岡縣警察部長

高知縣内政部長 藤野 英陽

任長野縣内政部長

沖繩縣内政部長 福吉 勳二

公布した。

任香川縣内政部長

八月十二日

新高潟縣官房長 橋爪 清人

金屬類回收令施行規則改正(商工省令第

任高知縣内政部長

五一號)外國車用自動車部分品最高販賣

滋賀縣官房長 伊場 信一

價格指定(商工省告示第八〇八號)アベマ

任沖繩縣内政部長

キコルク(摺輪等)製品及支那コルク摺輪

香川縣内政部長 吉垣壽一郎

最高販賣價格指定(商工省告示第八〇九

依願免本官

號)公布

日本發送電株式會社總裁池尾芳藏は病

大本營發表 八月十二日朝米國機「コン

氣の故を以て退職し左の通り新井章治が

ソリデーテッド」B24五機及び「ボーイ

就任した。

ング」B17三機北千島に飛來せり、我陸

新井 章治

軍航空部隊は直ちにこれを邀撃しその三

日本發送電株式會社總裁仰付

機を撃墜せり、我方一機未だ歸還せず。

獨軍當局は獨羅海空軍が開戦以來黒海

突撃を冒し、峻険をついて政行された

においてソ聯戰艦パリジヌスカヤ、コン

今次十八夏太行作戦は次のごとく春の作

ムーナ(二三、〇一六ト)巡洋艦四隻、

戦についで赫々たる大戦果をあげ、こ

旗艦一隻、驅逐艦八隻、潜水艦約四十隻

とに豫備八師長陳孝強中將以下主要幹部

を撃沈した旨十一日發表した。

をはじめ、多数の捕虜を獲得し、敵重慶

政府は刻下の戦力増強の絶對的要請に

陣營に大打撃を與へるとともに共產軍に

即應し金屬類の非常回收に萬全を期し金

も相當の打撃を與へたことは意義深いも

屬回收令及同施行規則の改正を行ひ之を

のがある、綜合戦果左の如し。(括弧内

は共產軍)交戦回数六十二(五)交戦敵兵

力一萬二千三百七十(四千四百四十)遺棄死

體一千五百四十八(四百五十)捕虜三千二百

八十(四十四)

十二日東部戦線で獨軍はソ聯戰車三百

八十臺を撃破した旨、獨軍當局から十三

日發表された。

八月十三日

自動車交通事業法施行規則中改正(鐵道

内務省令第一號)自動車交通事業法第三

十五條職權委任ニ關スル件(鐵道内務省

令第二號)自動車交通事業法施行ニ關シ

取扱方訓令(鐵道省訓令第一號)公布

八月十四日

小運送業法施行規則中改正(鐵道省令第

三四號)公布

大本營發表 帝國海軍航空部隊は八月十

二日ブルゲンビル島ブインに來襲せる敵

機五十五機以上と交戦しその三十四機を

撃墜せり、右空戦に於ける我方の損害未

歸還一機の外地上に於て若干の損害あり

八月十六日

天皇陛下には十六日午前十時表御座所に
出御、内閣顧問日鐵社長豊田貞次郎海軍
大将の『鐵鋼業に付て』の御進講を聞召
されたが松平宮相、木戸内府、百武侍從
長、蓮沼侍從武官長等側近奉仕者にも陪
聽差許された。

帝國海軍航空部隊は八月十三日夕刻か
ら深更にかけ前後四回にわたり北溟ポ
トダーウィン東南方約七十哩の敵航空基
地プロツクストリークならびにバツチエ
ラ飛行場に對し連續爆撃を敢行、兩飛行
場の誘導路、滑走路、軍事施設などに多
數の命中弾を與へ、十三箇所を爆撃炎上
せしめ全機歸還した、兩飛行場は北溟敵
反攻據點たるポトダーウィンの衛星基
地的役割を果しつゝあるもので、プロツ
クストリーク爆撃はさる六月三十日、七
月六日の攻撃につき同飛行場北方に近接
して存するバツチエラ飛行場に對しては
初爆撃が敢行せられたものである。

内務理事官 青井 則清

任埼玉縣官房長

海務院書記官兼外
務書記官、朝鮮總
督府遞信書記官

山崎 丹照

任鹿兒島縣經濟部長

鹿兒島縣經濟部長

渡邊 信男

依願免本官

天皇陛下には十六日午前九時三十分、表
御座所に出席、このたび軍事參議官に親
補せられ海上第一線より歸還した近藤信
竹海軍大將ほか原清、武田盛治兩海軍中
將、友成佐市郎、白石萬隆兩海軍少將に
拜謁仰付けられた、

獨軍當局は獨潛水艦隊がシチリア島北
岸水域で大膽極まる奇襲攻撃を敢行、驅
逐艦數隻の護衛する米國ブルツクリン級
巡洋艦（九千七百トン）一隻を撃沈した
旨十六日發表した。

同艦は一九三八年七月竣工、主砲六イ
ンチ砲十五門を裝備する新鋭巡洋艦で

ある。

獨軍當局十六日發表し英空軍は十五日
夜獨北部地方に對し數次の神經爆撃を行
つた、獨軍戰鬥機隊ならびに高射砲隊は
十五日西歐獨軍占領地區に來襲した敵機
のうち十六機を撃墜した、その大部分は
四發重爆撃機であつた、また獨軍戰鬥機
は大西洋上において空中戰の結果敵戰鬥
機五機を撃墜した。

六月末から七月にかけて黄河上流地域
は大洪水となり、五原および黃河南岸地
區は全面的に大氾濫を來した模様である
が、博作義軍はこれがため後方物資を遮
斷され前線少數部隊の一部はわが西部臨
時行政區に對し糧秣徵發のため部分的蠢
動をかせてゐた、しかしその蠢動もその
都度わが警備隊の反撃に遭ひ、該敵の機
先を制して隨所にこれを攻撃しその企圖
を粉碎したが、これが綜合戰果左の如し
（括弧内は共產軍）

△交戰敵兵力八八四六（六二五八）

△覆滅せる敵側諸施設兵舎三〇その他

△遺棄死體四三九(三六三)

△捕虜九八(九一)

△函獲品小銃一四三、彈藥三七六九、拳銃一九、手榴彈二五七

△歸順投降三〇(二三)

政府は地方行政の畫期的強化刷新を目ざして六月下旬地方行政協議會制度を創設、七月二十日第一回協議會長會議を開いたが、その第二回會議は八月十七日首相官邸に開くこととなつた。

獨空軍に初めて出現した雷撃機隊は去る十三日以来西地中海において米英大艦送船團を發見、攻撃を續行し、敵船三十四隻十七萬トン驅逐艦二隻を撃沈破、さらに敵船十二隻に重大損傷を與へた。

八月十七日

大本營發表 我航空部隊は八月十五、十六の兩日「ラエ」西方七十キロ「フアアバ」飛行場を攻撃し、空中戦により敵機三十九機(内不確實七)を撃墜對地攻撃

により同五機を爆碎炎上せしめたり。

我方四機未だ歸還せず。

大本營發表 帝國海軍航空部隊は八月十三日以来ガダルカナル島方面より西進せる敵輸送船團及護衛艦艇の行動に關し警戒中の所十四日夜來ベララベラ島方面に洩出の兆見えたるを以て十五日早朝より之に對し反覆攻撃を實施し左の戰果を得たり。

一、第一次攻撃機隊はベララベラ島南岸附近に於て敵戰闘機約五十機に衝られつつ接岸中の敵輸送船團に對し攻撃を敢行し大型輸送船一隻を轟沈、大中型輸送船三隻を炎上、敵戰闘機十三機を撃墜せり
二、第二次攻撃機隊は右輸送船團を再度攻撃し敵戰闘機の抵抗を排除しつつ大型輸送船二隻、上陸用舟艇一隻を撃沈、大型輸送船一隻、大型驅逐艦一隻、海上トラック一隻にそれぞれ至近彈、上陸用舟艇約十隻に銃撃を加へ敵戰闘機十一機を撃墜せり。

三、第三次攻撃機隊は敵戰闘機と交戦しつつ敵揚陸點附近を攻撃し巡洋艦一隻に至近彈一發、陸上二ヶ所炎上、敵戰闘機四機を撃墜せり。

四、第四次攻撃機隊はシンボ島南方十里及びピロア南東十五哩の海面に於て輸送船團を攻撃し大型驅逐艦一隻を撃沈、驅逐艦一隻を撃破せり。

五、敵の後續輸送船團の攻撃に向へる別働攻撃機隊は八月十五日夜半ガツカイ島東方十里の海上に於て敵輸送船團を發見雷撃により大型巡洋艦一隻を轟沈、大型輸送船一隻、輕巡洋艦、又は大型驅逐艦一隻を撃沈せるほか巡洋艦、驅逐艦各一隻にそれぞれ魚雷各一本を命中せしめたり。

六、右各攻撃における我方の損害自爆、未歸還を併せ十七機。

第二回地方行政協議會長會議は十七日午後一時内閣總理大臣官邸に開催、東條首相以下各大臣及關係官大達都長官外坂

内田、河原田、前田、吉野、横山、柳川
吉田の八長官並各地方參事官等參集食糧
増産對策要綱に付き協議し東條首相國民
の決意を要望して午後六時半散會し安藤
内相招待の晩餐會に臨み國際情勢に關し
て天羽總裁の説明を聴取した、食糧増産
具體案を本月三十一日までに政府に提出
することとなつた。

八月十八日

蔣共軍に對する皇軍不斷の攻撃は炎熱
を冒して日夜大陸の戰野に續行されてゐ
るが、北支軍では八月十八日十五時、七
月中の綜合戦果を次のごとく發表した。
(括弧内は共產軍)

抗戰回數 一、二一六(八六八)
抗戰敵兵力約 一八三、〇〇〇(九八、
三〇〇)
遺棄死體 七、三九〇(三、六〇四)
捕虜 六、〇六一(一、五二五)
覆滅施設 一一一(六八)
主なる鹵獲品平射砲 一

時局日誌

迫撃砲 二三

重機關銃 二九

輕機關銃 一六六

擲彈筒 四七

小銃 四、〇九五

自動小銃、短銃 三一

拳銃 五六一

その他兵器、彈藥被服、繯絲など多致。

地方參事官會議は十八日午前九時より
内務大臣官邸に於て開催、協議會の運営
食糧増産要綱、電力消費規正問題物動計
畫、國民動員計畫の説明を聞き午後五時
より鐵相官邸に參集陸運路の打開に付
協議した。

八月十九日

情報局發表 青木大東亞大臣は對支新政
策實施後の中華民國の實情を親しく視察
すると共に國民政府主席汪精衛氏以下中
國側要路の人々と意見の交換をなし且つ
は大東亞省現地機關の活動情況視察なら
びに現地陸海軍首腦者との懇談等を行ふ

目的を以て本十九日東京を出發南京に向
ひたり。

十五日早朝來ベララベラ島方面に進出
を企圖する敵に寸刻のゆるみなく索敵に
攻撃に、奮戦を續けてゐる帝國海軍航空
部隊は、さらに十七日早朝、ベララベラ
島南部のピロア海岸において敵海上トラ
ック一隻、上陸用舟艇約二十隻を猛爆、
海上トラック一隻を轟沈、上陸用舟艇七
隻を撃沈、同七隻を撃破するとともに、
附近陸上三箇所を炎上せしめた。

八月二十日

大東亞戰爭陸軍給與令細則(陸運第六七
號)公布

海軍省公表 昭和十七年四月十八日敵米
機動部隊來襲するや、本土東方洋心にお
いて逸早くこれを捕捉、敵發見の報告を
發信、その後敵の集中攻撃を受けて艇長
以下總員、艇と運命を俱にする迄刻々敵
情を報告し克くその任務を達成せる特設
監視艇第〇〇丸に對し、聯合艦隊司令長

官より感狀を授與せられ、右の旨上聞に達せられたり。

情報局發表 本年七月四日の東條内閣總理大臣及「ビボン」「タイ」國內閣總理大臣

間會談に引續き日「タイ」兩國政府間に於て「マライ」及「シヤン」地方における「ダ

イ」國の領土に關する日本國「タイ」國間條約締結方に付交渉中なりし處今般右條

約文の妥結を見八月二十日「バンコック」において特命全權大使坪上貞二と「タイ」

國內閣總理大臣兼外務大臣事務管掌元帥「ビー・ビボン・ソングラム」との間に右條

約の署名調印を了せり。

ドイツ外務當局は東部戰線における赤軍の尨大な損害を指摘、二十日次の通り

言明した。

赤軍は戰線後方ならびに國內奥地から新編歩兵師團、戰車旅團砲兵聯隊を續々動員して尨大な機甲力を東部戰線に

注ぎ込んでゐるが、戰團が長引けば長引く程赤軍の消耗は幾何級的に増大し

てゐるとへば赤軍は十九日一日だけで實に戰車四百八十六臺を喪つてゐるが、以上のことは赤軍が機甲力の質の

向上よりも量の強化に努めてゐることを示すものだ、更に去る七月五日夏季

攻勢開始以來の赤軍の損害は兵員百二十五萬、戰車一萬四千五百臺、火砲五

千門といはれる。

獨軍當局は去る七月五日夏季攻勢を開始して以來赤軍は戰車一萬四千五百臺を喪失した旨二十日夕發表した。

八月二十一日

蔬菜及果實類最高販賣價格指定昭和十六年七月告示第四四三號中改正（農林省告示第四六〇號）公布

陸軍省發表 中支北北作戰に拔群なる武功を樹て王勁哉を歸順せしめたる太田騎

兵部隊及び北支十八春太行作戰に寡兵挺身總司令龐炳勳を誘導せる横光歩兵部隊

陸軍少尉田中徹雄に對し義に夫々軍司令官より感狀を授與せられしが今般畏くも

上聞に達せられたり。

支那派遣軍綜合戰果支那派遣軍の六月中における綜合戰果左の如し、

交戰回數一千五百七十八、交戰兵力二十七萬一千三百九十一、重慶軍戰死者

一萬九千三百九十三、俘虜及び歸順九千六百十一、主要鹵獲品各種火砲二十

八（同彈藥一千七十九、重輕機百六十三（同彈藥二萬八千九百二十一）小銃五千

百三十八（同彈藥三十二萬五千八百九）拳銃一千七十三（同彈藥三千七百

七十二）手榴彈二萬七千九百九十、擲彈筒及銃五十七（同彈藥三百九十二）

わが損害六百六十三

八月二十二日

大本營發表 「キスカ」島守備の帝國陸海軍部隊は何等敵の妨害を受くることなく

七月下旬全兵力の撤收を完了し既に新任務に就きたり。

八月二十三日

レントバ島からベララベラ島方面へと

飛石傳ひに北進しつつある敵は機あらば我占領地帯に上陸せんと虎視たん／＼たるものがあるが、二十二日早朝上陸用舟艇魚雷艇など十五隻を以てコロンパンガラ島に來襲、上陸を企圖したが我が陸上部隊はこれを發見するや直ちに猛砲火を浴びせその二隻を撃沈、一兵をも上陸せしめず他を撃退した。

帝國海軍航空部隊は去る十五日以來ベラベラ島方面の敵に相次いで猛攻を加へつゝあつたが、二十一日朝から午後にかけて二回にわたつてベラベラ島のピロア附近の海域において敵輸送船團を急襲敵戦闘機三十機の抵抗を排除してこれに猛爆を加へ中型輸送船一隻小型輸送船一隻を撃沈、大型輸送船二隻中型輸送船一隻をそれ／＼撃破炎上せしめた他陸上三箇所にて大火災を生ぜしめ敵戦闘機十四機を撃墜するの戦果をあげた。

盛んに長距離爆撃機を以てチモール、ポルネオ、セレパス方面をねらひつゝあ

る敵は今度は二十一日午後又發戰鬥機六機を以てアル諸島マイコールに來襲、これに對し我方は地上砲火と空戦により四機を撃墜他の二機を撃破した。

八月二十四日

蔬菜及果實五カロン罐詰並ニ其ノ中味ノ最高販賣價格指定(農林省告示第四六六號)公布

支那派遣軍報道部發表

一、支那派遣軍の七月中における綜合戦果左のごとし。

△交戦回数一七六四

△交戦敵兵力二五一六六七

△重慶軍戦死者九四六七

△捕虜および歸順六八五六三

△主要鹵獲品各種火炮二四、同彈藥六四

六一、重輕機一八七、同彈藥一七五八

六四、小銃四八七〇、同彈藥一六六七

一〇、拳銃七〇三、同彈藥四六六三、

榴彈筒および銃五九、同彈藥一四一、

手榴彈九五〇〇、銃剣刀槍類七二五、

その他通信器材一、火藥、馬匹、被服など多数

△わが方損害三三九

ロンドン來電「英空軍省は英空軍のベルリン爆撃につき二十四日つぎの通り發表した。

英空軍は二十三日夜半「非常な大兵力をもつてベルリン市に爆撃を加へたがその際爆撃機五十八、戰鬥機一機を喪失した」

八月二十五日

鐵道車輛製造工場事業場管理令施行規則(鐵道省令第三五號)用材規格規程昭和十四年十月告示第三六七號改正(農林省告示第四六九號)利器工匠具類最高販賣價格指定(商工省告示第八四一號)公布

大本營發表 「ニューチョーヂア」島及

「ベラベラ」島を中心とする南太平洋方面の戦局は敵の熾烈なる反攻と之に對する我が痛烈なる反撃と相俟つて日と共に激化の一途を辿りつつあり。

一、「ニューヂョーチア島」帝國陸海軍守備部隊は六月三十日以來上陸し來れる敵數萬を寡勢を以て邀撃し陸所に之を撃摧して甚大なる打撃を與へ目下「ムンダ」北方海岸地區及「バイコロ」地帯に於て激戰中なり、陸上に於て敵に與へるを損害一萬を下らず。

二、「ペララペラ」島 巽に上陸を企圖せる敵は帝國海軍航空部隊の反覆攻撃に依り其の輸送船の多數を失ひ僅かに其の一部兵力の「ピロア」上陸に成功せるに過ぎざりしも爾後執拗に兵力増強に努めつつあり。

帝國陸海軍守備部隊の勇戰奮闘と相俟ち海軍航空部隊並に海上部隊は敵兵力増強の阻止撃攘に努め兩島附近の上空及海上に於て連日晝夜の別なく敵と交戦し大なる打撃を與へ居れるも敵反攻の勢は侮り難きものあり。

大本營發表 支那方面我航空部隊は八月二十三日重慶及萬縣を攻撃せり、狀況次

の如し。

一、十二時三十分重慶に進攻、工場地帯を爆碎炎上せしめたる外重慶軍戰闘機十數機と交戦其の八機（内不確實三）を撃墜せり、我方一機未だ歸還せず。

二、十二時二十七分萬縣に進攻、埠頭及軍事施設を爆碎炎上せしむると共に大型船舶一隻を撃破小數隻を撃沈し全機無事歸還せり。

獨軍當局は二十四日東部戦線で獨軍が赤軍戰車二百六十三臺を撃破した旨二十五日發表した。

大東亞文學者決戰大會は今二十五日帝國劇場に於て開催され天羽情報局總裁の演説、谷萩陸軍少將、栗原海軍大佐の祝辭ありて左の誓を宣誓して第一日の開會式を終つた。

〔誓〕

大東亞戦争いままさに決戦の日を迎へたり、東亞の興廢、この一日一刻に存す、大勇猛心をふるつて、米英文化殲滅の最

後の鐵槌を下さざるべからず、東亞の偉

大にして光輝ある傳統に宿る諸々の神靈我等を守りたまへ。我等また信愛の誠をつくし、いかなる苦難到來するも、不退轉の大志をもつて勝利を戦ひとらむ。我等すでに戦友たり。血盟の同志たり。生死を一にし、相たすけて、大東亞新生のための本大會を完うせむ。右、宣誓す。

昭和十八年八月二十五日

大東亞文學者決戰大會議員代表

八月二十六日

天皇陛下には二十六日午前十時表御座所に出御、さきに海上第一線より歸還した遠藤喜一海軍中將以下秋山勝三、小暮軍治兩海軍少將ならびに米空母ヨークタウン型を撃沈、感狀を授與せられたる殊勲の潜水艦長田邊彌八海軍少佐に拜謁仰付けられた。

陸軍中將 大木 繁

補憲兵司令官

東條首相は二十六日午前十一時半着相

官邸に、帝國大學總長會議出席のため滯京中の内田東大總長外八帝大總長ならびに八木東京工大學長を招待、政府側より東條首相、岡部文相、内閣四長官、菊池文部次官他關係官ら出席し、午餐を共にしつゝ種々懇談午後零時半散會したが東條首相は右の席上次の如き挨拶を述べ一、己れを空しうした殉國の精神に徹する戰爭下學生の純潔な精神をいよく昂揚し、一億國民の龜鑑たるべき人材の育成指導に當られたし。

一、「學徒戰時動員體制確立要綱」に基く學徒動員は單に勞務の提供といふ物的な取扱に終始するものでなく、飽くまで學生の精神の鍛鍊、體力の錬成を主眼とするものである故、實行に當つては、十分その趣旨の徹底を期せられたし。

一、創意工夫は産業界にのみ要求されるものでなく學術の蘊奥を究むべき大學において特に必要とする。

一、學問、學者の獨善、技術者の狹量等

の弊風は速かに一掃すべきである。
一、大學が従來の因習や平時の考へ方に捉はれることなく、思ひ切つた頭の切り換へを實行されたし。

の五點を強調、深い感銘をあたへた。

日滿蒙華の文化的總力を結集する大東亞文學者決戰大會第二日は本會議として二十六日午前九時から大東亞會館で開かれた、議題は大東亞戰爭完遂、米英文化擊滅、共榮圈文化確立に關する文學者の協力ならびに實踐の三點のみ、午前中は一般論に終始したが、殘暑と戰ふ文學者の熱論であつた。

第二次日米居留民交換の議調ひ帝亞丸米國人千五百名を九月中旬送致することとなり、米國亦邦人千五百名をクリツプヌホルム號で送致し十月中旬葡領エアのマルマゴン港で交換することとなつた。
大本營發表 支那方面我航空部隊は八月二十四日萬縣及び宜昌西方三斗坪附近に進攻すると共に武漢地區に襲せる敵機

を邀撃せり、状況次の如し。
一、萬縣の埠頭軍需品集積所及び敵舟艇群を爆碎炎上せしめた

二、三斗坪附近揚子江上の敵船舶を攻撃しその一隻を撃沈二隻を撃破せり

三、武漢地區に襲せる敵機二十數機を邀撃しその十機(うち不確實一)を撃墜せり

四、我方の損害自爆及び未だ歸還せざるもの各一機なり

わが哨戒機は二十三日未明不敵にもサボ島附近を北上中の敵巡洋艦七隻を發見わが海軍航空部隊は直ちに艦上攻撃機數機をもつてこれを襲ひ巡洋艦一隻に魚雷〇本を命中せしめこれを大破した、わが方には被害はなかつた。

わが海軍戦闘機隊はニューデョーデア島の敵機を掃蕩すべく二十三日午前、午後三回にわたり出撃、邀撃せる敵機と交戦その九機を撃墜し全機無事歸還した。

支那大陸における日米航空決戦は日を

八月二十七日

進つていよ／＼苛烈さを増し、わが陸軍航空部隊の先制爆撃或は困難な邀撃戦法によつて既報の如く、七月二十三日の決戦開始より同月末までわづか一週間に四十四機（不確實四機）撃墜といふ輝かしい記録を示してゐるがその後八月一日より二十四日までの間に、去る二十日桂林で五機（不確實三機）二十一日は午後二回にわたつて執拗に來襲したコンソリデーテッド B₂₄ を邀撃して三機、カーチス P₄₀ を地上砲火で一機をれん／＼撃墜、決戦の火蓋を切つてより、はじめて超重爆 B₂₄ を一舉に三機も撃墜といふ金字塔を打ち樹てた、ついで二十三日の晝期的な四川進攻では、重慶上空でわが戦爆連合の大編隊を邀撃したリパブリック P₄₃、カーチス P₄₀ などと壯烈な機銃砲火を交へて、八機を撃墜（不確實三機）した、さらに二十四日第四回目の武漢地區來襲の戦爆連合の敵機二十數機のうち十餘

（不確實一機）を屠つた。

内國旅費規則中改正（勅令第六八四號）外國旅費規則中改正（勅令第六八五號）洋傘最高販賣價格指定昭和十七年十二月告示第一三三九號中改正（商工省告示第八四五號）公布

政府は今回航空機工場を中心として第三回行政査察を行ふこととなり内閣顧問藤原銀次郎氏が査察使に勅命された、尙本査察は九月中に行はれる豫定である。

内閣顧問 藤原銀次郎
行政査察使被仰付

ニューギニヤ方面における日米航空決戦は愈々苛烈を増し連日同方面に來襲する敵機群を撃撃しれん／＼戦果をあげつゝある、二十八、九の兩日同方面でをさめたわか航空戦果はつぎのとほりである
△二十八日午前ハンサ附近に B₂₅、P₃₈ 約四十機來襲、わが荒鷲はこれを邀撃 B₂₅ 五機撃墜の戦果をあげた、我方の損害は極めて輕微である。

△二十九日午前マダン附近に B₂₅、B₁₇ P₃₈ 四十數機來襲、地上火器により B₂₅ 二機を撃墜した。我が方損害極めて輕微
△二十九日午前ウエルク附近に B₂、P₃₈ 五十數機來襲、我戦闘機はその九機（うち不確實二機）撃墜の戦果をあげた、我方の損害は未歸還四機。

畏き邊りでは、大東亞戰爭勃發以來南方および支那大陸の戦線において活躍、名譽の戦死を遂げた陸軍將兵に對し論功行賞の御沙汰あらせられ、第七十回支那事變死者論功行賞（陸軍第五十回）第十五回大東亞戰爭死者論功行賞（陸軍（第十回）として三十一日賞勳局ならびに陸軍省から發表された、今回行賞の恩命を拜したのは、大東亞戰爭の緒戦たる馬來半島および比島攻略作戦に参加、不滅の武勳を樹て、終に聖戰遂行の人柱となつた勇士が大部分であつて、中支方面における長沙作戦浙贛作戦、北支方面における中原會戰等に拔擢の武功を奏した

勇士も多數含まれてゐる、輝く金鶏勳章
彼賜の光榮に浴した勇士は河原利明中將
以下四千七百五十三名で、そのうち武功
特に拔群にして殊勳甲の優賞を賜はつた
者は、河原中將以下百六十五名である。

八月二十八日

内國旅費規則施行細則（大藏省令第七一
號）公布

八月三十一日

大休營發表 一、「ニューギニア」島「サ
ラモア」附近の我部隊は六月三十日以降
「ナツソウ」灣及「ワウ」附近より優勢なる
空軍支援の下に前進せる敵を「カミター
ム」「ムボ」「ナツソウ」灣の線に於て激
撃し之に大打撃を與へたる後目下「サラ
モア」周邊地區に於て激戰中なり。
右期間敵に與へたる損害戦死傷五千六百
以上なり。

二、「ニューギニア」方面我航空部隊亦地
上戦團に協力すると共に「ベナベナ」「フ
アペル」等の敵航空基地に進攻し或は敵

機の來襲を激撃し熾烈なる戦闘を繼續中
なり。
同期間に敵機三百五十八機（内不確實五
十三機）を撃墜せり、我方の損害百三機
なり。

ソロモン群島ブーゲンビル島のおか前
線基地に對する敵機の攻撃は、ニューギ
ニア戦線と相俟つて一日一日と激化しつ
ゝあるが、三十日午後も同島東端方面に
戦爆連合、すなはちコンソリデーテッド
B24、ベルP39、ボートシコルスキーF
4Uなど約五十機が來襲、これに對して
わが海軍戦團機隊が激撃、痛烈なる空戦
の後B24ならびに戦團機合計二十機を撃
墜、その他を撃破發火せしめて撃退した
我方は二機を失つた、同基地の存在は敵
陣地への脅威であるだけに、敵の反撃は
今後益々激化するものと見られる。
東條首相は三十一日首相官邸で開催さ
れた地方參事官會議において戦時食糧増
産問題につき重要訓示をなしたが、その

際首相としての戦時行政完遂に關する信
念を吐露し

一、農民をはじめ一般地方民の指導に當
る官吏は時々刻々變貌する戦局に即應す
べし、徒らなる議論形式を排し時の問題
を常に念頭におくべし。

二、食糧増産、その他一般施策につき従
來の如き中央依存を止め地方の特色を活
かし、資材、勞務、すべて手持つたもので
全能力を發揮すべし。

との二點の主旨を強調した。

